

2014 東京都大田福祉工場

コロニーフェスティバル

11/1(土)

11:00~14:30

- 舞台 (八丈太鼓/まごめ会 沖縄音楽/海ヤカラーズ)
- バザー&メモ用紙販売
- アートビリティカレンダー販売
- 防災用品即売
- こどもコーナー (景品有)
 - ・ 射的 ・ ストライクボール
 - ・ アメとチョコのつかみどり
- フードコーナー
 - ・ 焼きいも ・ フランクフルト ・ ぶっかけうどん
 - ・ ポップコーン ・ ビール、酒、ソフトドリンクなど
- 喫茶店
 - ・ 焼菓子&パン (販売)
- 手揚げせんべい実演販売

今年もやります!
ビンゴ大会

ご協力をお願い!!

お買い上げいただいた飲食物は衛生面に十分注意を払っておりますが、なるべくお持ち帰りはせずに、その場でお召し上がりください。

東京都大田福祉工場

〒143-0015 大田区大森西 2-22-26 ☎03-3762-7611

※駐車場がございませんので
車や自転車のご来場は
ご遠慮ください。

受付をしていただいたお客様にはビンゴカードを配布します。



大田福祉工場がめざすもの

大田福祉工場は1975年、東京都立の福祉工場として開設しました。それ以来、障害のある従業員と障害を持たない従業員が『共に働く印刷工場』として、その事業を継続してきました。

それは障害のある人がサービスを受け、障害のない人がサービスを提供するという関係ではなく、障害のある人とない人が共に働き、稼ぎだし、賃金を得ることがあたりまえの工場だということです。そして、様々な問題や困難を抱えながらも、障害の有無を意識しないで共に働く関係を創りだしながら、印刷工場として経営を続けることができたことは私たちの財産であると考えています。

お客さまや地域の皆さまに支えられて、今まで、このように運営できたことを、感謝いたします。

この、「共に働き、自ら稼ぎを生み出す」という精神を忘れずに、これからも東京都大田福祉工場として印刷事業を継続し、これからは、いままで以上に地域とのつながりを作り、この地で経営を続けていく所存です。

より充実したサービスを提供するために

2017年4月に東京都大田福祉工場は4階建ての新しい施設として生まれ変わります。

今年設立40年目となる大田福祉工場は設立以来「障害者の完全参加と平等、経済的社会的自立の実現」を目指す施設として地域のみなさまの暖かい支援を賜りながら、事業を継続することができました。本当にありがとうございます。

しかし建物の経年劣化により老朽化が進んでおり、安心・安全という観点だけでなく、一昨年4月からの民営化に伴い開始された障害福祉サービス事業は、より重度の障害を持つ区民の方を受け入れ、地域での自立に向けた訓練などのサービス提供の場として事業を推進しており、充実したサービスを提供し、今後とも引き続き社会福祉に資する施設として地域で継続していくためには、ニーズに合致した早急の建て替えが必要と考えており、東京都の支援を得ながら新築の準備を開始したところです。

年内には地域の皆様への説明会などを行い、皆様方の声を十分参考にしながら新築事業を進めていきます。

本事業は仮設工事、現施設解体、新築工事、仮設施設と合築の隣接施設の解体、駐車場等外構工事の5期にあたり2017年一杯の完了を想定しております。

工事中は安全対策をしっかりと取るだけでなく騒音等についても可能な限り地域のみなさまへご迷惑をお掛けしないよう進めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

所長 湯浅 克己



東京都大田福祉工場

〒143-0015 大田区大森西 2-22-26 ☎03-3762-7611